



ビデオ会議システム CS-800 CS-500

## ヤマハ CS マネージャー 操作ガイド

# 目次

ヤマハ CS マネージャーとは .....	3
ヤマハ CS マネージャーの使用条件 .....	3
ヤマハ CS マネージャーでできること .....	3
本ガイドの表記について .....	4
推奨環境 .....	5
インストール方法 .....	5
<b>操作方法 .....</b>	<b>6</b>
パスワード設定／ログイン .....	6
はじめての場合：パスワードを設定する .....	6
ログインする .....	7
ホーム（ステータス情報） .....	8
Admin 設定 .....	10
オーディオ設定 .....	12
Bluetooth 設定 .....	14
ヤマハ CS マネージャーで Bluetooth 接続する .....	16
カメラ設定 .....	17
スマートフレーミング設定 .....	19
ディスプレイ設定 .....	20
ネットワーク設定 .....	21
Wi-Fi 接続する .....	23
時刻設定 .....	26
ファームウェアアップデート .....	27
コンフィグレーション .....	28
ログ .....	30

# ヤマハCSマネージャーとは

ヤマハ CS マネージャーは、CS-800 および CS-500 の詳細設定を行うアプリケーションソフトウェアです。

## ヤマハ CS マネージャーの使用条件

以下の条件が揃っている場合にヤマハ CS マネージャーを使用できます。

- ・PC にヤマハ CS マネージャーをインストールしていること
- ・上記の PC と本体が USB ケーブルで接続されていること

本体の接続・設定方法は、各製品の「ユーザーガイド」をご参照ください。

## ヤマハ CS マネージャーでできること



- ✓ ステータス情報の確認 (8 ページ)



- ✓ Admin 設定 (10 ページ)
- ✓ オーディオ設定 (12 ページ)
- ✓ Bluetooth 設定 (14 ページ)
- ✓ カメラ設定 (17 ページ)
- ✓ スマートフレーミング設定 (19 ページ)
- ✓ ディスプレイ設定 (20 ページ)
- ✓ ネットワーク設定 (21 ページ)



- ✓ 時刻設定 (26 ページ)
- ✓ ファームウェアアップデート (27 ページ)
- ✓ 設定のエクスポート・インポート (コンフィグレーション: 28 ページ)
- ✓ ネットワーク設定の初期化 (コンフィグレーション: 29 ページ)
- ✓ 工場出荷時設定・本体再起動 (コンフィグレーション: 29 ページ)
- ✓ ログ情報のダウンロード (ログ: 30 ページ)

## 本ガイドの表記について

---

本ガイドは、ヤマハCSマネージャーの使用方法について説明しています。

### 商標について

- ・Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・その他掲載されている会社名および製品は、各社の商標および登録商標です。

### 本ガイドの内容について

- ・このソフトウェアおよび操作ガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・このソフトウェアおよび操作ガイドの一部、または全部を無断で複製・改変することはできません。
- ・このソフトウェアおよび操作ガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアおよび操作ガイドは、改良のため予告なしに変更されることがあります。
- ・このソフトウェアはWindowsのタッチパネルによる操作の動作保証はしていません。
- ・この操作ガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- ・この操作ガイドは、Windows10での操作、画面を例に説明しています。

## 推奨環境

---

ヤマハCSマネージャーの動作推奨環境は、以下のとおりです。

### 対応OS: Windows、macOS

\* 対応するOSのバージョンは、ヤマハWebサイトをご参照ください。

## インストール方法

---

ヤマハCSマネージャーを使用するには、アプリケーションファイルのダウンロードが必要です。

### 1. ヤマハホームページから、最新のアプリケーションファイルをダウンロードする

#### ▼CS-800 製品サイト

<https://www.yamaha.com/2/cs-800/>

#### ▼CS-500 製品サイト

<https://www.yamaha.com/2/cs-500/>

### 2. 圧縮ファイルを展開し、アプリケーションファイルを実行する

#### Windowsの場合

zipファイルを任意の場所に展開してください。フォルダーの中の「CSManager.exe」をダブルクリックして、起動します。

#### Macの場合

dmgファイルを任意の場所に展開してください。フォルダーの中の「CSManager」をダブルクリックして、起動します。

## お知らせ

---

アプリケーションファイルを実行してもヤマハCSマネージャーのログイン画面が開かない場合は、PCとCS-800/CS-500がUSBケーブルで接続されているか確認してください。

# 操作方法

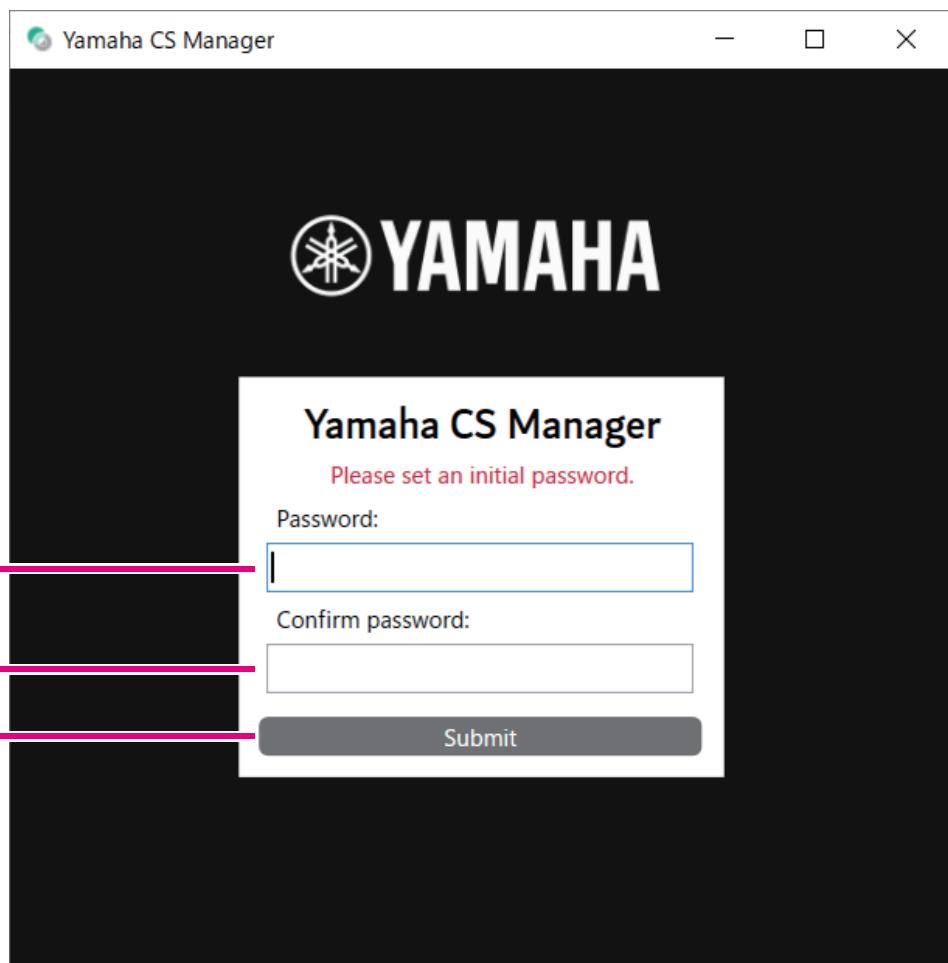
## パスワード設定／ログイン

ヤマハ CS マネージャーを使用するには、ログインが必要です。起動すると、ログイン画面が表示されます。

### ■ はじめての場合：パスワードを設定する

初回起動時には、パスワードの設定が必要です。任意のパスワードを設定してください。

#### Initial Password Setting

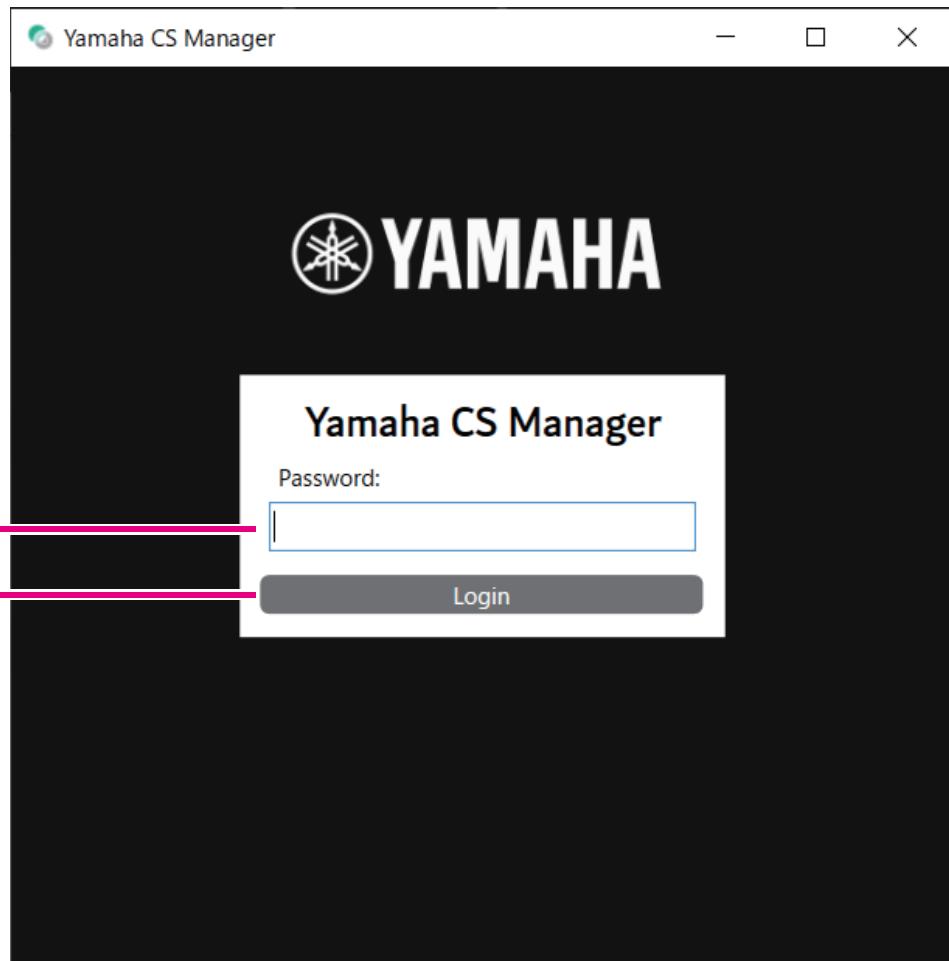


項目	内容
① <b>Password:</b>	ヤマハ CS マネージャーのログインパスワードに設定する値を入力します。 (4 文字以上 16 文字以下の英数字)
② <b>Confirm Password:</b>	上記で入力したパスワードを再入力します。
③ <b>Submit</b>	クリックすることで、パスワードを確定します。

## ■ ログインする

パスワードを設定後にヤマハ CS マネージャーを起動すると、ログイン画面が表示されます。設定したパスワードを入力し、ログインしてください。

### Login



項目	内容
① <b>Password:</b>	設定したパスワードを入力します。
② <b>Login</b>	クリックすることで、パスワードを確定します。

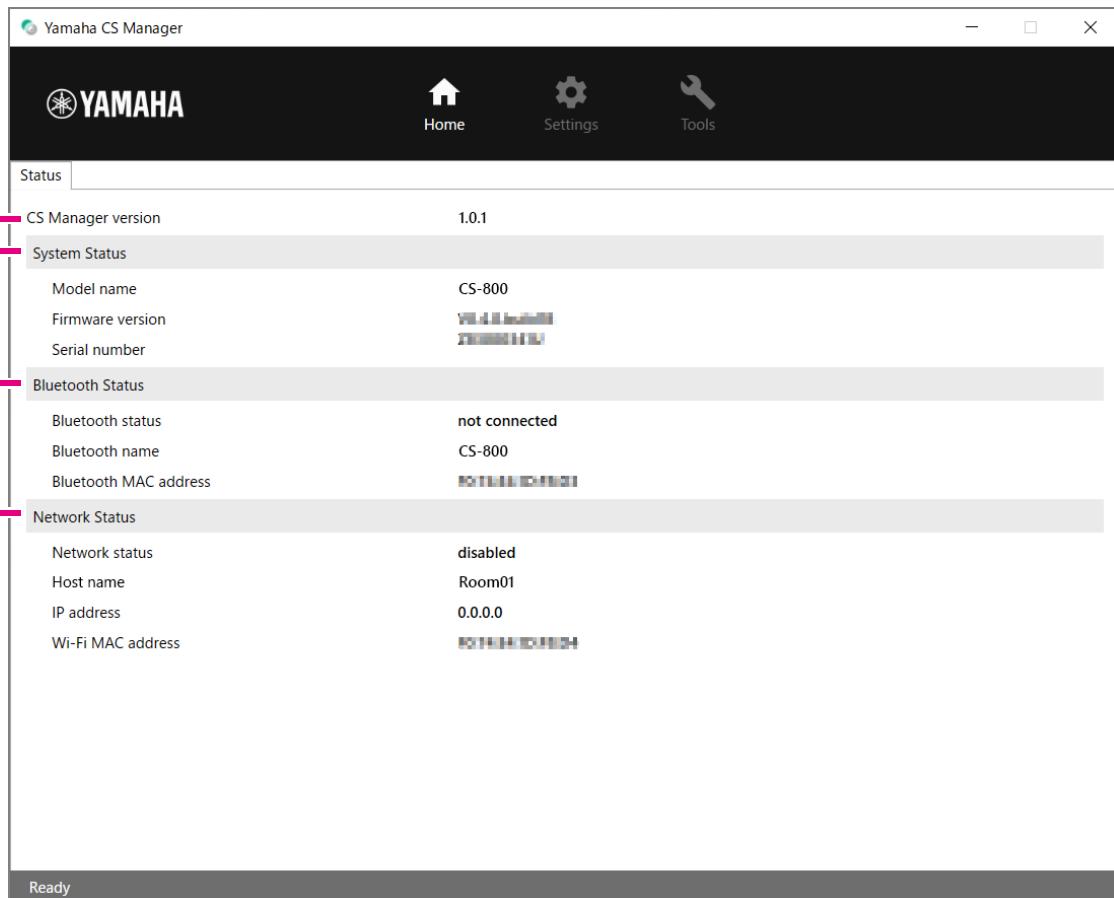
### お知らせ

設定したパスワードを忘れた場合は本体を初期化する必要があります。本体の初期化方法は、各製品の「ユーザーガイド」をご参照ください。

# ホーム（ステータス情報）

ヤマハ CS マネージャーにログイン後、ホーム画面には各種ステータス情報が表示されます。

## Home メニュー > Status 情報



### ① Version

項目	内容
<b>CS Manager version</b>	ヤマハ CS マネージャーのバージョンが表示されます。

### ② System Status

項目	内容
<b>Model name</b>	モデル名が表示されます。
<b>Firmware version</b>	本体のファームウェアバージョンが表示されます。
<b>Serial number</b>	本体のシリアル番号が表示されます。

### ③ Bluetooth Status

項目	内容
<b>Bluetooth status</b>	Bluetooth の接続状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li><b>[disable]</b> Bluetooth 接続が無効化されています。</li><li><b>[not connected]</b> Bluetooth 接続がされていません。</li><li><b>[connected to XXXX]</b> 現在接続している Bluetooth 接続のデバイス名が表示されます。</li></ul>
<b>Bluetooth name</b>	本体の Bluetooth 接続の表示名が表示されます。 Bluetooth 設定でデバイス名を設定した場合、設定したデバイス名が表示されます。
<b>Bluetooth MAC address</b>	Bluetooth MAC アドレスが表示されます。

### ④ Network Status

項目	内容
<b>Network status</b>	ネットワーク接続 (Wi-Fi 接続) の状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li><b>[disabled]</b> Wi-Fi 接続が無効化されています。</li><li><b>[not connected]</b> Wi-Fi に接続されていません。</li><li><b>[connected to &lt;SSID&gt;]</b> 現在接続している Wi-Fi 接続の SSID 名が表示されます。 (例: connected to yamaha_wifi)</li></ul>
<b>Host name</b>	ネットワーク設定で設定したホスト名が表示されます。
<b>IP address</b>	本体の IP アドレスが表示されます。
<b>Wi-Fi MAC address</b>	本体の MAC アドレスが表示されます。

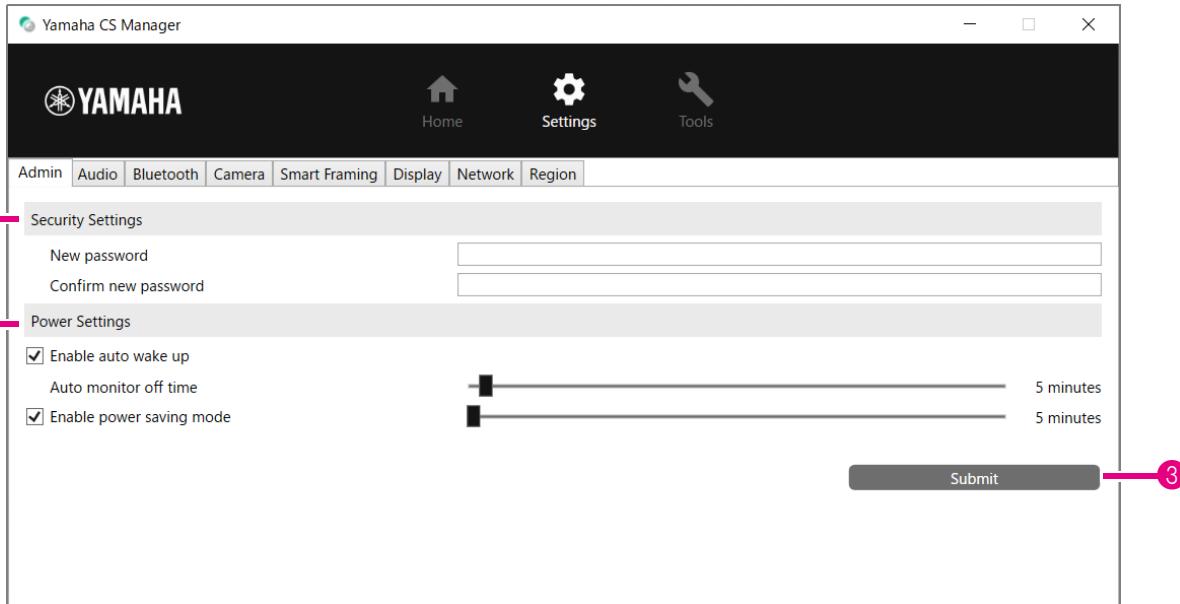
## 関連リンク

- ・ファームウェアアップデート (27 ページ)
- ・Bluetooth 設定 (14 ページ)
- ・ネットワーク設定 (21 ページ)

# Admin 設定

Admin 設定では、接続モード・パスワード設定・電源管理設定などシステムの値を設定できます。

## Settings メニュー > Admin 設定



### ① Security Settings

項目	内容
<b>New password</b>	ヤマハ CS マネージャーのログインパスワードに設定する値を入力します。 (4 文字以上 16 文字以下の英数字)
<b>Confirm new password</b>	上記で入力したパスワードを再度入力します。

\* [New password] または [Confirm new password] が空欄の状態で [Submit] ボタンをクリックした場合、パスワードは更新されません。

### ② Power Settings

項目	内容
<b>Enable auto wake up</b>	人物検知によるディスプレイの電源自動オン機能（オートウェイクアップ）の有効化／無効化を設定できます。 [Enable power saving mode] により省電力待機状態のときは、オートウェイクアップが動作しません。
<b>Auto monitor off time</b>	ディスプレイオフ状態に入るまでの時間をスライダーで設定できます。（分単位） ディスプレイオフ状態のとき、以下のいずれかの動作で電源が起動します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体が人物を検知する（オートウェイクアップ）</li> <li>・本体とテレビを HDMI ケーブルで接続する</li> <li>・Bluetooth 経由で着信・通話をする。または音楽を再生する。</li> <li>・本体と PC を USB ケーブルで接続する</li> </ul>

項目	内容
<b>Enable power saving mode</b>	<p>省電力モードの有効化／無効化を設定できます。</p> <p>有効のときのみ、以下が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[Power saving timeout]</b> ディスプレイオフ状態から省電力待機状態に入るまでの時間をスライダーで設定できます。(分単位)</li> </ul> <p>省電力待機状態のとき、以下のいずれかの動作で電源が起動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンの電源ボタンを押す</li> <li>・本体と PC を USB ケーブルで接続する</li> <li>・本体とテレビを HDMI ケーブルで接続する</li> </ul>

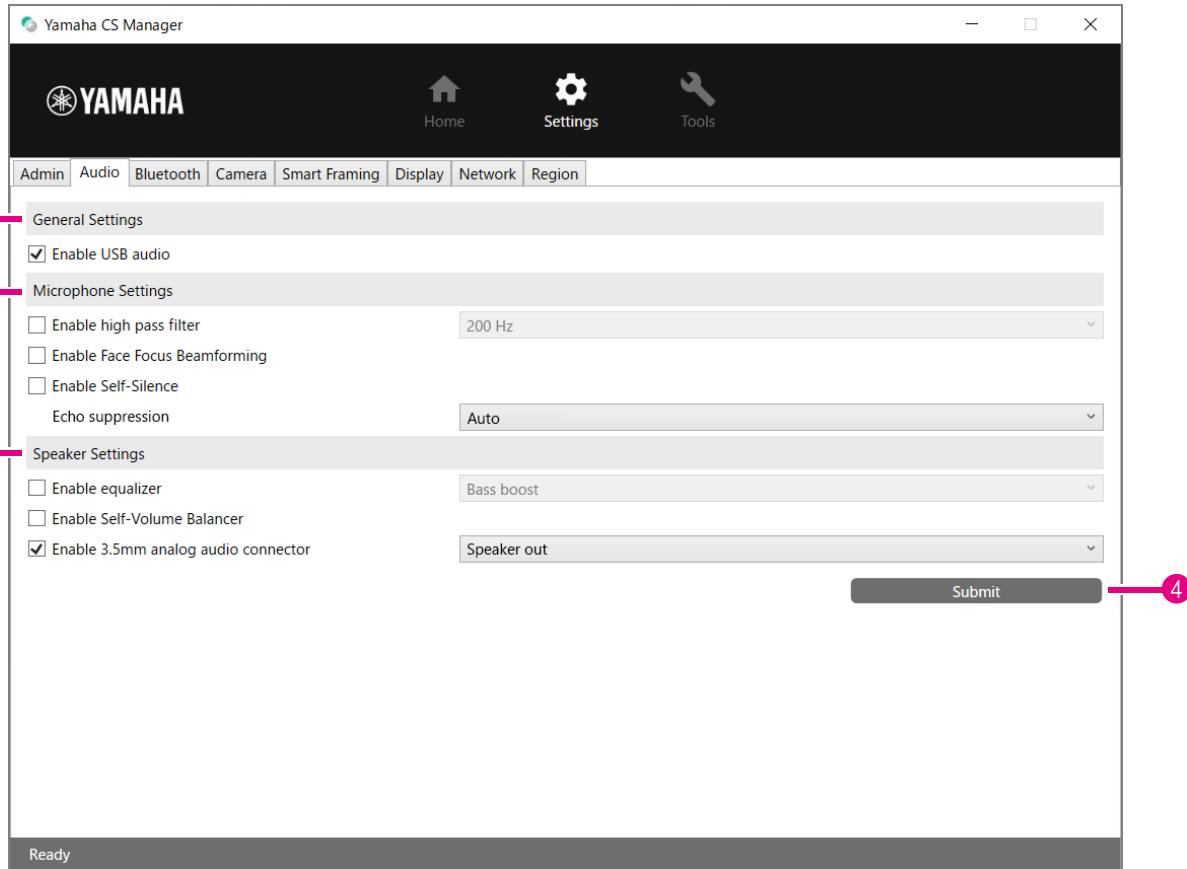
### ③ Submit

項目	内容
<b>Submit</b>	クリックすることで、Admin 設定のすべての内容を反映できます。

# オーディオ設定

オーディオ設定では、マイクやスピーカーの設定ができます。

## Settings メニュー > Audio 設定



### ① General Settings (CS-500 接続時のみ表示)

項目	内容
<b>Enable USB audio</b>	USB オーディオの無効化／有効化を設定できます。USB オーディオを接続する場合は、有効にしてください。

## ② Microphone Settings

項目	内容
<b>Enable high pass filter</b>	マイクのハイパスフィルタの無効化／有効化を設定できます。有効のときのみ、マイクのイコライザーを選択できます。 [200 Hz / 315 Hz / 500 Hz]
<b>Enable Face Focus Beamforming</b>	カメラの映像から参加者の位置を検出し、参加者の音声以外のノイズを低減する機能を無効化／有効化できます。 <b>【有効にした場合】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者を検出するため、レンズキャップを外してください</li> <li>対象エリアは、スマートフレーミング設定の ② Meeting Area Settings で設定できます（19 ページ）</li> </ul>
<b>Enable Self-Silence</b>	人の声とノイズを自動的に検出し、人の声以外の音を低減する機能の無効化／有効化を設定できます。
<b>Echo suppression</b> (CS-500 接続時のみ表示)	エコーキャンセラーの強さを設定できます。[Auto / Strong] ③ Speaker Settings の [Enable 3.5mm analog audio connector] が [Headphone out] のとき（ヘッドホンやイヤホンを使用するとき）は、エコーキャンセラーが無効となります。

## ③ Speaker Settings

項目	内容
<b>Enable equalizer</b>	スピーカーのイコライザーの無効化／有効化を設定できます。有効のときのみ、スピーカーのイコライザーを選択できます。 [Bass boost / Treble boost]
<b>Enable Self-Volume Balancer</b>	スピーカーの音量を自動調整する機能の無効化／有効化を設定できます。
<b>Enable 3.5mm analog audio connector</b> (CS-500 接続時のみ表示)	アナログオーディオ端子の無効化／有効化ができます。 スピーカーを接続する場合は [Speaker out] を選択、ヘッドホンやイヤホンを接続する場合は [Headphone out] を選択してください。

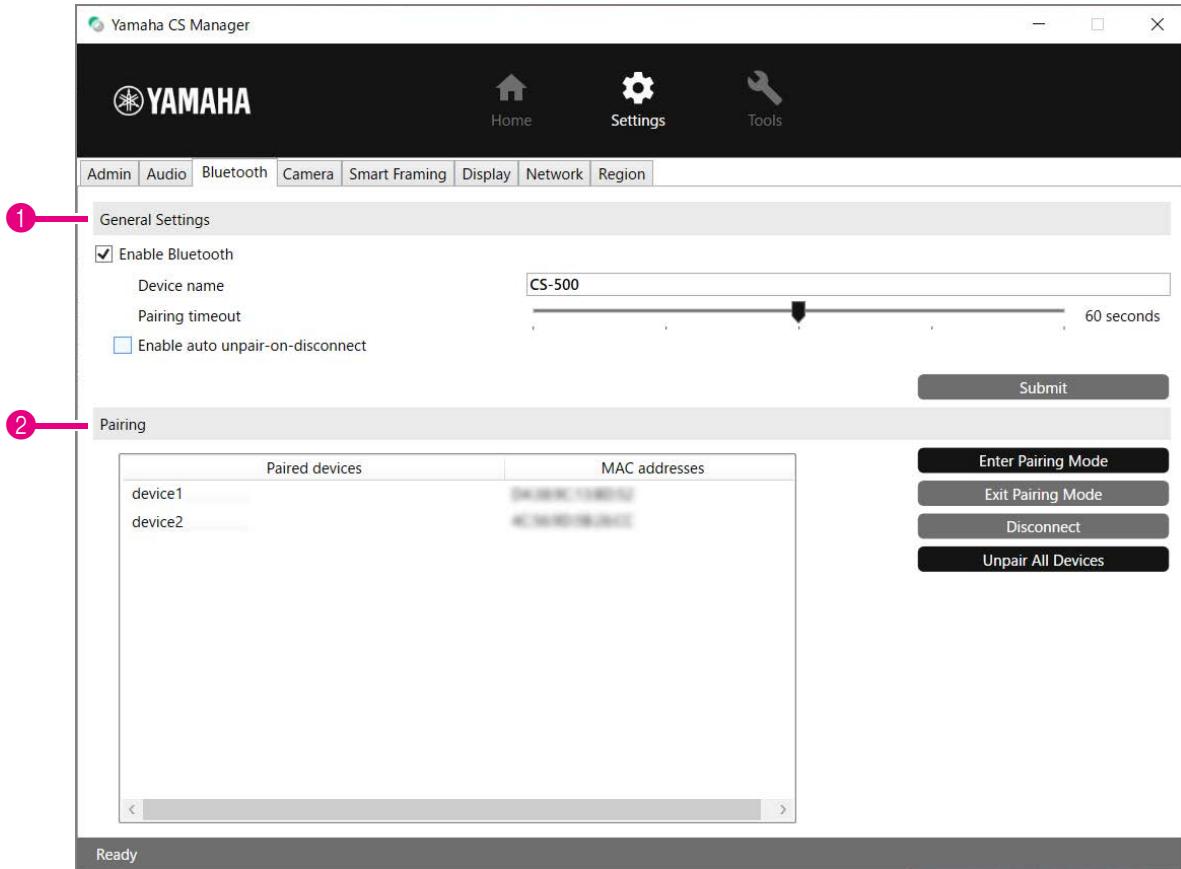
## ④ Submit

項目	内容
<b>Submit</b>	クリックすることで、オーディオ設定のすべての内容を反映できます。

# Bluetooth 設定

Bluetooth 設定画面では、Bluetooth の設定や Bluetooth 機器とのペアリングができます。

## Settings メニュー > Bluetooth 設定



### ① General Settings

項目	内容
<b>Enable Bluetooth</b>	Bluetooth 機能の無効化／有効化を設定できます。有効のときのみ、以下の設定ができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>[Device name]</b> Bluetooth 機器と接続した場合に表示される本体のデバイス名を変更できます。</li> <li><b>[Pairing timeout]</b> ペアリングモードがタイムアウトする時間をスライダーで設定できます。(秒単位)</li> <li><b>[Enable auto unpair-on-disconnect]</b> Bluetooth 機器との接続が切断されると同時にペアリング情報を消去できます。自動的に接続したい場合は無効にしてください。</li> </ul>
<b>Submit</b>	クリックすることで、[General Settings] の内容を反映できます。

## ② Pairing

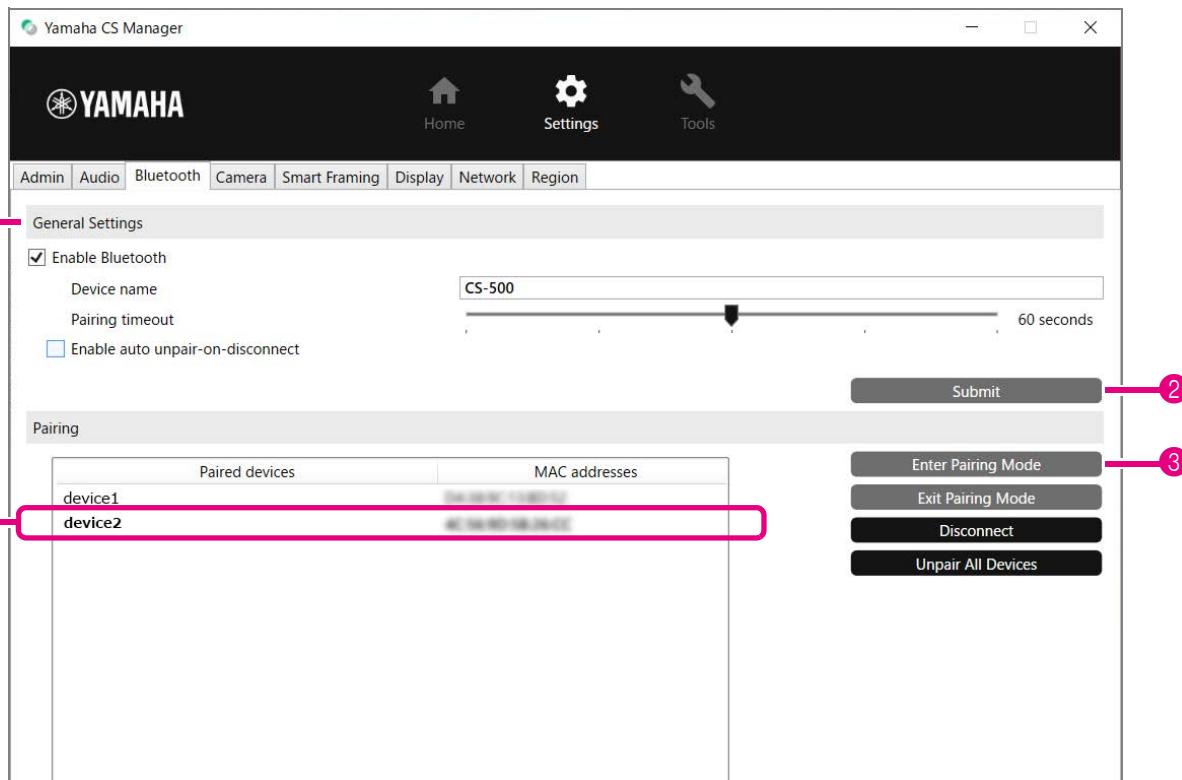
Bluetooth 機能の有効時に表示されます。

項目	内容
<b>Paired devices</b>	ペアリング済みの Bluetooth 機器の Bluetooth のデバイス名が表示されます。接続中のデバイス名は、太字で表示されます。
<b>MAC addresses</b>	ペアリング済みの Bluetooth 機器の MAC アドレスが表示されます。接続中の MAC アドレスは、太字で表示されます。
<b>Enter Pairing Mode</b>	クリックすることで、ペアリングモードを開始できます。詳しくは「ヤマハ CS マネージャーで Bluetooth 接続する」（16 ページ）を参照してください。
<b>Exit Pairing Mode</b>	クリックすることで、ペアリングモードを終了できます。
<b>Disconnect</b>	クリックすることで、Bluetooth 接続中のデバイスを切断できます。
<b>Unpair All Devices</b>	クリックすることで、すべてのペアリング情報を消去できます。

## ■ ヤマハ CS マネージャーで Bluetooth 接続する

本体と Bluetooth 機器を接続する場合、まずはペアリングをする必要があります。以下の手順でペアリング・Bluetooth 接続ができます。

### Settings メニュー > Bluetooth 設定



#### 1. Bluetooth 接続を有効にする

- ① [Enable Bluetooth] にチェックをします。
  - ② [Submit] ボタンをクリックして、設定を有効にします。
- Bluetooth 機器の Bluetooth がオンになっていることを確認してください。

#### 2. ペアリングを開始する

- ③ [Enter Paring Mode] ボタンをクリックして、ペアリングモードを開始します。
- 接続中の機器がある場合は、[Enter Paring Mode] ボタンを押すことができません。[Disconnect] ボタンを押して、切断してください。

#### 3. Bluetooth 機器でペアリングリクエストを承認する

Bluetooth 機器の画面に、Bluetooth Pairing PIN (数字) が表示されます。ヤマハ CS マネージャーの画面に表示されている数字と間違いないことを確認し、Bluetooth 機器で承認してください。

#### 4. ペアリングの完了を確認する

- ④ [Paired Devices] に、ペアリングした機器が追加されていれば、ペアリング完了です。
- ペアリングと同時に Bluetooth 接続されます。Bluetooth 接続中のデバイス名は、太字で表示されています。

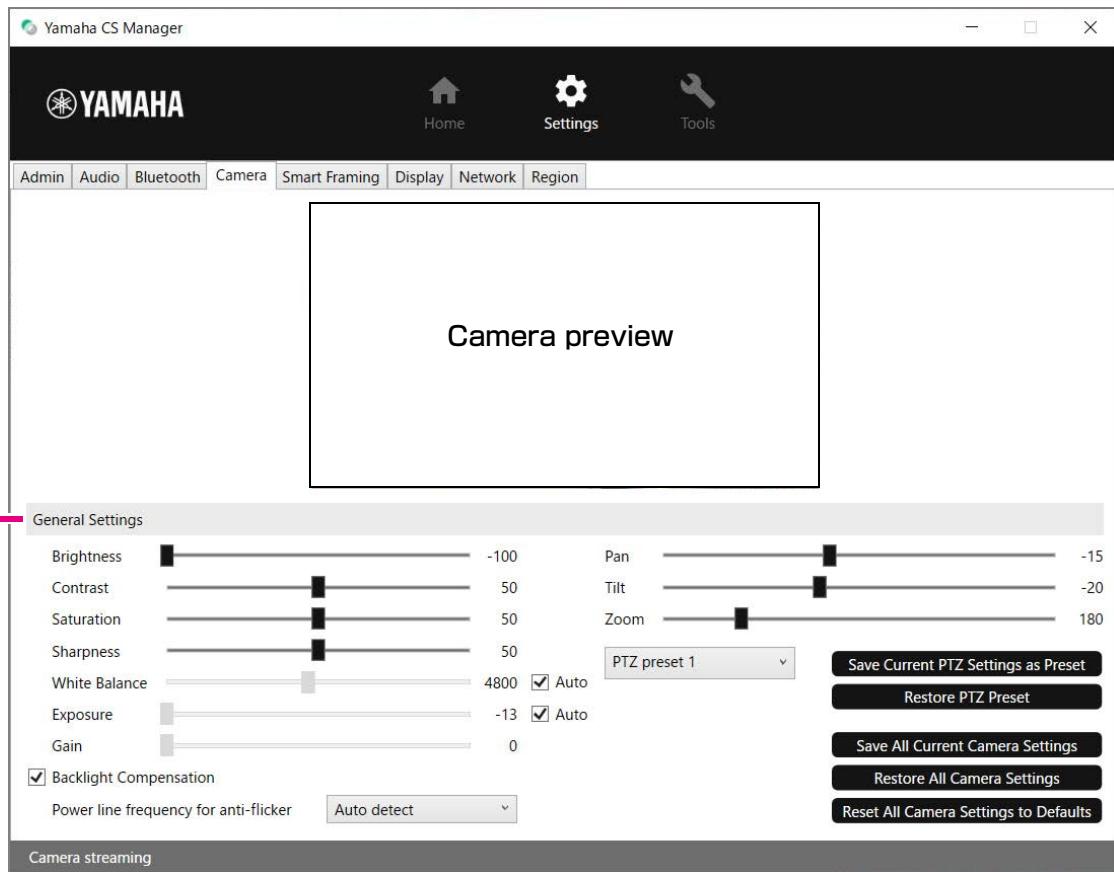
### 関連リンク

- Bluetooth 設定 (14 ページ)

# カメラ設定

カメラ設定では、本体搭載カメラの詳細設定ができます。

## Settings メニュー > Camera 設定



### ① General Settings

カメラの設定値の調整ができます。各設定は、スライダーやチェックなど、操作をした時点で変更され、カメラプレビューに反映されます。

項目	内容
<b>Brightness</b>	輝度の値をスライダーで調整できます。
<b>Contrast</b>	コントラストの値をスライダーで調整できます。
<b>Saturation</b>	彩度の値をスライダーで調整できます。
<b>Sharpness</b>	シャープネスの値をスライダーで調整できます。
<b>White Balance</b>	ホワイトバランスの値をスライダーで調整できます。[Auto] にチェックを入れると、自動設定が有効になります。
<b>Exposure</b>	露出の値をスライダーで調整できます。[Auto] にチェックを入れると、自動設定が有効になり、[Exposure] と [Gain] の調整ができなくなります。
<b>Gain</b>	ゲインの値をスライダーで調整できます。
<b>Backlight Compensation</b>	バックライト補正の有効化／無効化を設定できます。

項目	内容
<b>Power line frequency for anti-flicker</b>	フリッカー現象を低減するために、電力線周波数を設定できます。「Auto detect」に設定してもフリッカー低減効果が得られない場合は、お住まいの地域の周波数を選択してください。[Auto detect / 50 Hz / 60 Hz]
<b>Pan</b>	[Zoom] が初期設定値（100）以外の場合のみ、設定が可能です。カメラの向き（水平方向）の値をスライダーで調整できます。
<b>Tilt</b>	[Zoom] が初期設定値（100）以外の場合のみ、設定が可能です。カメラの向き（垂直方向）の値をスライダーで調整できます。
<b>Zoom</b>	ズーム倍率の値をスライダーで調整できます。
<b>PTZ preset 1~5</b>	カメラの PTZ 値（Pan / Tilt / Zoom）を設定できます。（5つまで）
<b>Save Current PTZ Settings as Preset</b>	[PTZ preset 1 ~ 5] から保存したいプリセット名を選択し、ボタン*をクリックすることで、現在の PTZ 値の組み合わせを保存できます。
<b>Restore PTZ Preset</b>	[PTZ preset 1 ~ 5] からプリセット名を選択し、ボタン*をクリックすることで、保存された PTZ 値の組み合わせを呼び出すことができます。
<b>Save All Current Camera Settings</b>	クリックすることで、PTZ 値を含むすべてのカメラ設定を保存できます。
<b>Restore All Camera Settings</b>	[Save All Current Camera Settings] で保存した値を呼び出します。
<b>Reset All Camera Settings to Defaults</b>	現在の PTZ 値を含むすべてのカメラ設定と PTZ Preset を初期状態に戻すことができます。

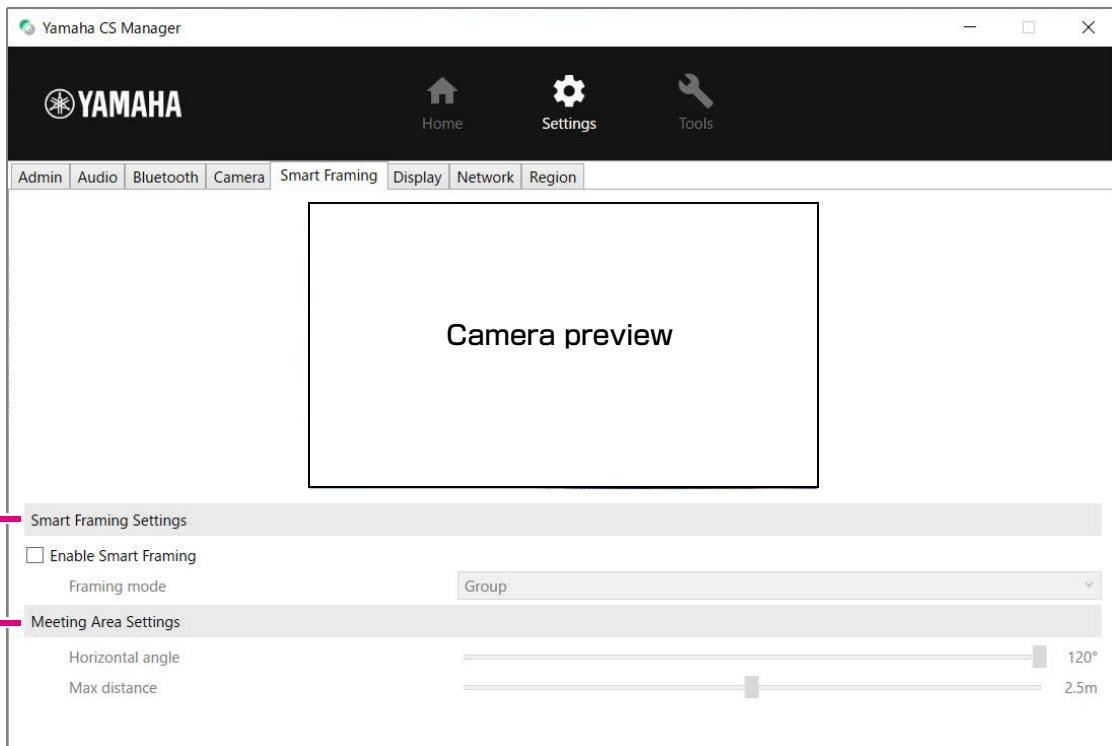
\* ボタンが無効になっている場合は、以下のいずれかの方法で、スマートフレーミング機能を無効にしてください。

- スマートフレーミング設定の [Enable Smart Framing] のチェックを外す（19 ページ）
- リモコンのスマートフレーミングボタンを押す

# スマートフレーミング設定

スマートフレーミング設定では、人物を認識するカメラフレーム領域の設定ができます。

## Settings メニュー > Smart Framing 画面



### ① Smart Framing Settings

項目	内容
<b>Enable Smart Framing</b>	スマートフレーミング機能の無効化／有効化を設定できます。
<b>Framing mode</b>	スマートフレーミング機能が有効の場合のみ設定できます。 用途に合わせて被写体を追従するモードを選べます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[Group]</b>：映っている人全員をフレームに収める</li> <li>• <b>[Speaker tracking]</b>：話している人をフレームに収める</li> <li>• <b>[Individual]</b>：特定の一人をフレームに収める</li> </ul>

### ② Meeting Area Settings

スマートフレーミング・フェイスフォーカスビームフォーミング\*の対象エリアを設定します。

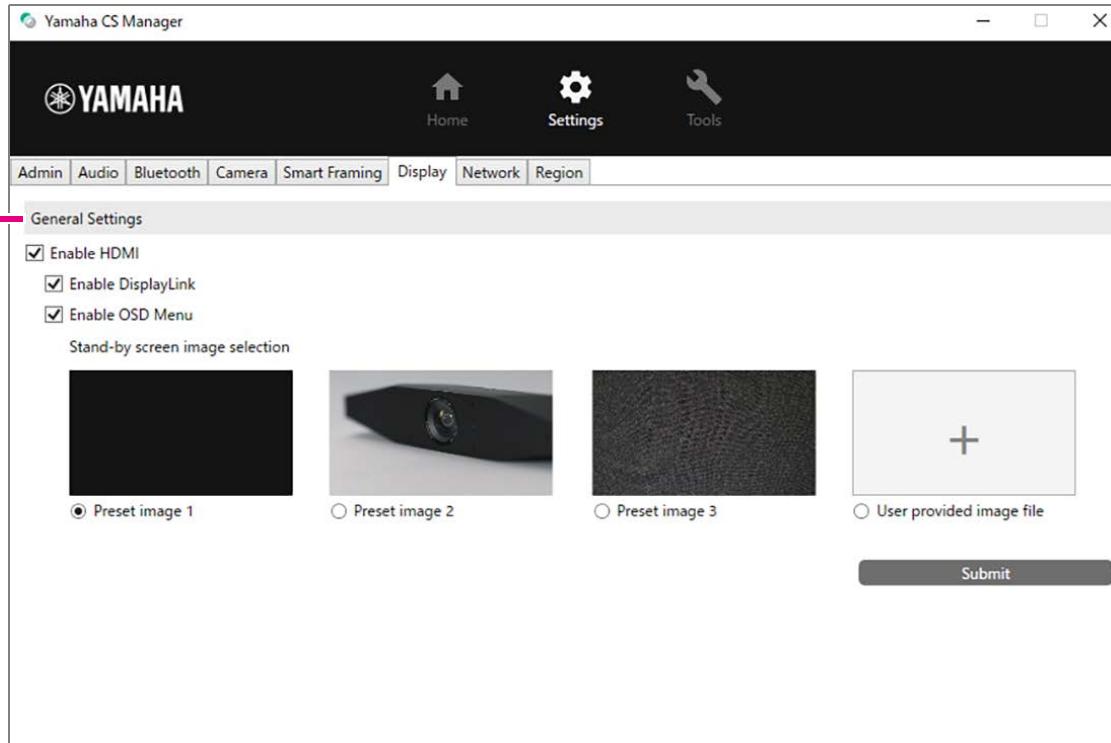
項目	内容
<b>Horizontal angle</b>	水平方向の対象エリアをスライダーで設定できます。(20 ~ 110°)
<b>Max distance</b>	対象エリアを何 m 先までにするかをスライダーで設定できます。 (1 ~ 4.5 m、フェイスフォーカスビームフォーミング*が有効の場合は、3.0 m まで)

\* フェイスフォーカスビームフォーミング … オーディオ設定 (12 ページ) の [Enable Face Focus Beamforming]

# ディスプレイ設定

ディスプレイ設定では、接続したテレビ画面に関する設定ができます。

## Settings メニュー > Display 設定



### ① General Settings

項目	内容
<b>Enable HDMI</b>	HDMI 接続の無効化／有効化を設定できます。
<b>Enable DisplayLink</b>	HDMI 接続が有効の場合のみ設定ができます。DisplayLink 機能 * の無効化／有効化を設定できます。
<b>Enable OSD Menu</b>	OSD メニューの無効化／有効化を設定できます。
<b>Stand-by screen image selection</b>	[Enable HDMI] が有効の場合のみ設定ができます。 本体と PC が未接続時、本体と HDMI 接続したテレビ画面に表示する待機画像を設定できます。 • <b>[User provided image file]</b> 画像を新たに設定する場合は、参照してアップロードできます。(アップロード可能な拡張子：jpg/jpeg/png。画像の対比はテレビの解像度に合わせてください。)
<b>Submit</b>	クリックすることで、上記内容を反映できます。

#### \* DisplayLink 機能

本体を経由して PC とテレビを接続した場合（本体とテレビを HDMI ケーブルで接続し、本体と PC を USB ケーブルで接続）PC の画面をテレビに表示する機能。

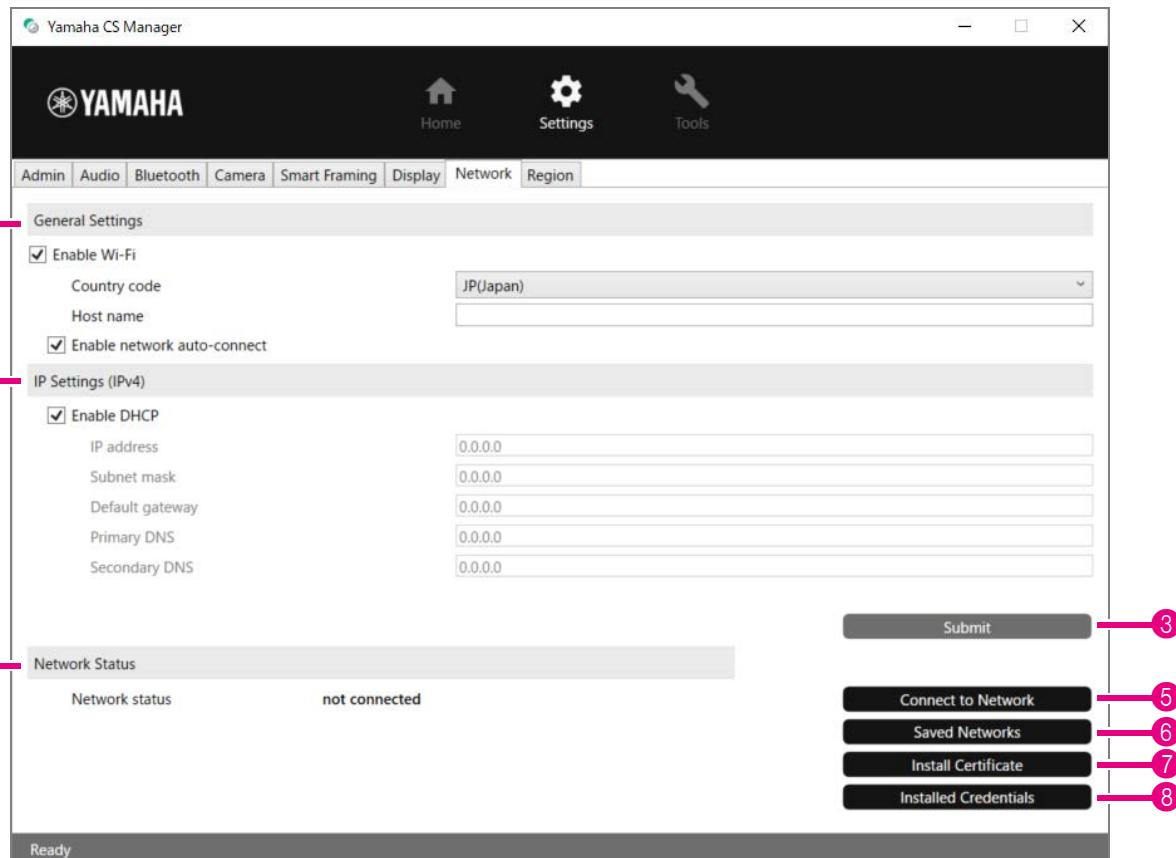
# ネットワーク設定

ネットワーク設定では、本体に Wi-Fi で接続するための設定ができます。

Wi-Fi 接続することにより、以下のことが可能になります。

- ・本体の時刻設定をする (26 ページ)
- ・CS Remote Configurator でデバイスを一括管理する (CS Remote Configurator 操作ガイドを参照ください)

## Settings メニュー > Network 設定



### 1 General Settings

項目	内容
<b>Enable Wi-Fi</b>	Wi-Fi 機能の無効化／有効化を設定できます。 有効にした場合のみ、以下の設定ができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Country code</b> Wi-Fi 機能の国コード（国名）を設定します。 [Home] 画面（8 ページ）の [Serial Number] の末尾が [J][U][A] 以外の場合に選択できます。*</li> <li><b>Host name</b> デバイス固有の名称を設定します。 デバイスを識別するときに使用します。</li> <li><b>Enable network auto-connect</b> 接続したことがあるネットワークへ自動接続する機能の無効化／有効化を設定できます。</li> </ul>

\* 本製品は、法的な規制基準が異なるさまざまな国・地域で使用できるように設計されています。ご使用になる国・地域に合わせて国コードを設定してください。一部の国・地域では工場出荷時の設定から変更できません。

## ② IP Settings (IPv4)

項目	内容
<b>Enable DHCP</b>	[Enable Wi-Fi] を有効にした場合のみ設定できます。 DHCP 機能の無効化／有効化を設定します。 静的 IP アドレスを割り当てる場合は、[Enable DHCP] を無効にして、以下のように静的 IP アドレスを設定できます。(XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。) <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>IP address</b></li> <li>• <b>Subnet mask</b></li> <li>• <b>Default gateway</b></li> <li>• <b>Primary DNS</b></li> <li>• <b>Secondary DNS</b></li> </ul>

項目	内容
③ <b>Submit</b>	クリックすることで、[General Settings/IP Settings] の内容を反映できます。

## ④ Network Status

項目	内容
<b>Network status</b>	ネットワーク接続 (Wi-Fi 接続) の状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>disabled</b> Wi-Fi 接続が無効化されています。</li> <li>• <b>not connected</b> Wi-Fi に接続されていません。</li> <li>• <b>connected to &lt;SSID&gt;</b> 現在接続している Wi-Fi 接続の SSID 名が表示されます。</li> </ul>

項目	内容
⑤ <b>Connect to Network</b>	ネットワークに接続します。詳しい手順は「Wi-Fi 接続する」(23 ページ) を参照してください。
⑥ <b>Saved Networks</b>	既知のネットワーク一覧を表示します。
⑦ <b>Install Certificate</b>	クライアント証明書ファイルをインストールします。
⑧ <b>Installed Credentials</b>	インストールされた認証情報 (CA/ ユーザー証明書) の一覧を表示または削除ができます。

## ■ Wi-Fi 接続する

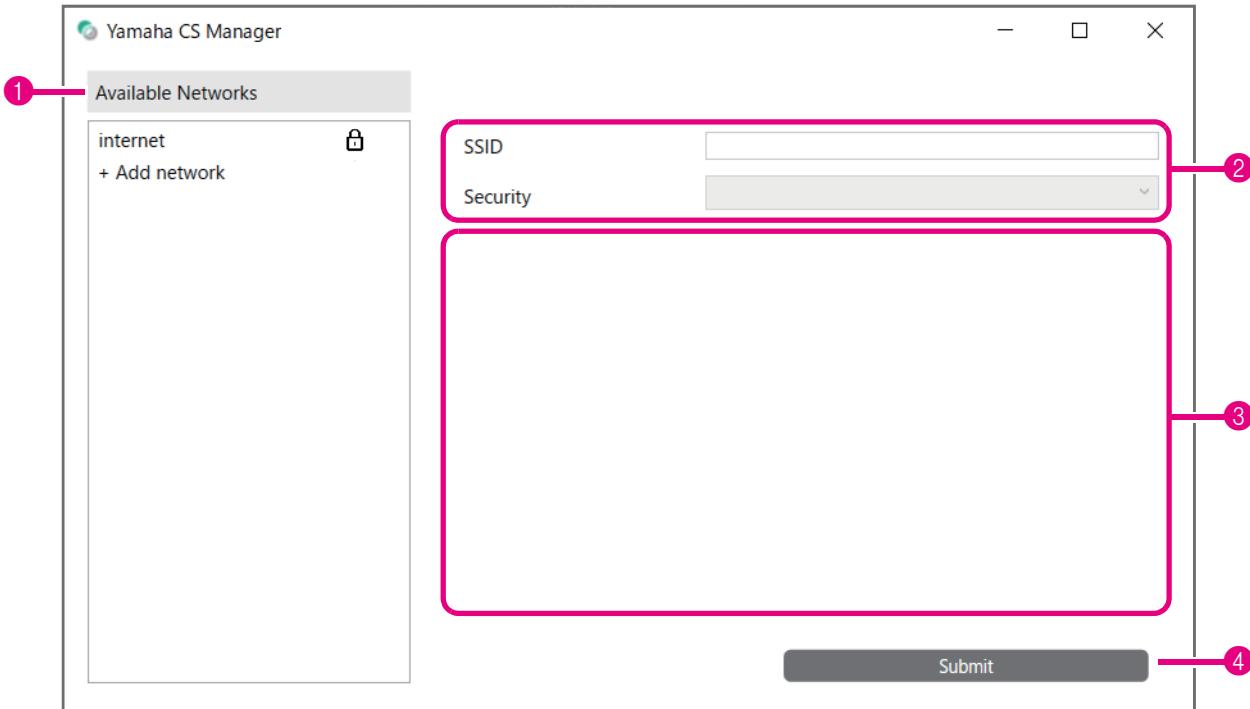
ネットワークに接続するための Wi-Fi 設定ができます。

1. Network 設定の [Enable Wi-Fi] にチェックを入れ、Wi-Fi 機能を有効化する (21 ページ)  
[Country code][Host name] も合わせて設定してください。

## 2. Network 設定の [Connect to Network] ボタンをクリックする

[Connect to Network] 画面 (ポップアップ画面) が開きます。

### Settings メニュー > Network 設定 > Connect to Network 画面



3. ① アクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選択する

#### ① Available Networks

項目	内容
<b>Available Networks</b>	デバイスから取得した接続可能な無線アクセスポイントの一覧が表示されます。暗号化されている接続には、SSID 名の右側に鍵マークが表示されます。 暗号化されている接続を選択した場合は、暗号化方式により ② の項目が変動します。 • <b>[+ Add network]</b> 選択すると [SSID] の以下の項目をすべて手動で設定できる状態になります。

## 4. 選択したアクセスポイントの SSID 名と暗号化形式が表示される

選択したアクセスポイントの暗号化形式により、入力項目と画面の遷移が異なります。

画面 ① で [+ Add network] を選択した場合は、すべて手動で設定します。

### ② SSID 名と暗号化形式

項目	内容
<b>SSID</b>	SSID 名が表示されます。(最大文字数 : 32 文字)
<b>Security</b>	<p>暗号化方式により、表示される項目が異なります。</p> <p>1) 以下の場合、その他の項目入力の必要がありません。<b>4</b> の手順に進んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[None]</b></li> <li>• <b>[Enhanced Open]</b></li> </ul> <p>2) 以下の方程式の場合、③ の [Password] のみ表示されます。パスワードを入力してください。その後、<b>4</b> の手順に進んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[WEP]</b></li> <li>• <b>[WPA/WPA2-Personal]</b></li> <li>• <b>[WPA3-Personal]</b></li> </ul> <p>3) 以下の方程式の場合、③ の項目が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[WPA/WPA2/WPA3-Enterprise]</b></li> </ul>

### ③ [Security] で [WPA/WPA2/WPA3-Enterprise] が選択されている場合

項目	内容
<b>EAP method</b>	<p>選択した認証方式により、表示される項目が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[PEAP]</b> Phase 2 authentication, CA certificate, Identity, Anonymous identity, Password</li> <li>• <b>[TLS]</b> CA certificate, User certificate, Identity</li> <li>• <b>[TTLS]</b> Phase 2 authentication, CA certificate, Identity, Anonymous identity, Password</li> <li>• <b>[PWD]</b> Identity, Password</li> </ul>
<b>Phase 2 authentication</b>	[EAP method] にて [PEAP/TTLS] を選択時にのみ選択できます。 [None/PAP/MSCHAP/MSCHAPV2/GTC]
<b>CA certificate</b>	CA 証明書を選択できます。 ネットワーク設定の [Installed credential] 画面に表示された [credential] のうち、CA 証明書を含むものが選択肢に追加されます。
<b>Domain</b>	CA 証明書で認証されているドメイン名を入力します。 [CA certificate] で [Use system certificates] を選択時のみ項目の入力ができます。
<b>User certificate</b>	ユーザー証明書を選択できます。 ネットワーク設定の [Installed credential] 画面に表示された [credential] のうち、ユーザー証明書を含むものが選択肢に追加されます。

項目	内容
<b>Identity</b>	ユーザー ID を入力します。
<b>Anonymous identity</b>	匿名ユーザー名を入力します。
<b>Password</b>	認証パスワードを入力します。

## 5. Submit ボタンをクリックして Wi-fi 接続を開始する

	項目	内容
④	<b>Submit</b>	クリックすることで、Wi-fi 接続を開始します。

画面の左下に “Connected to network” と表示されたら、ネットワークに接続完了です。

## お知らせ

---

各ドロップダウンの項目は、選択するたびに他の項目に入力された値が初期化されます。

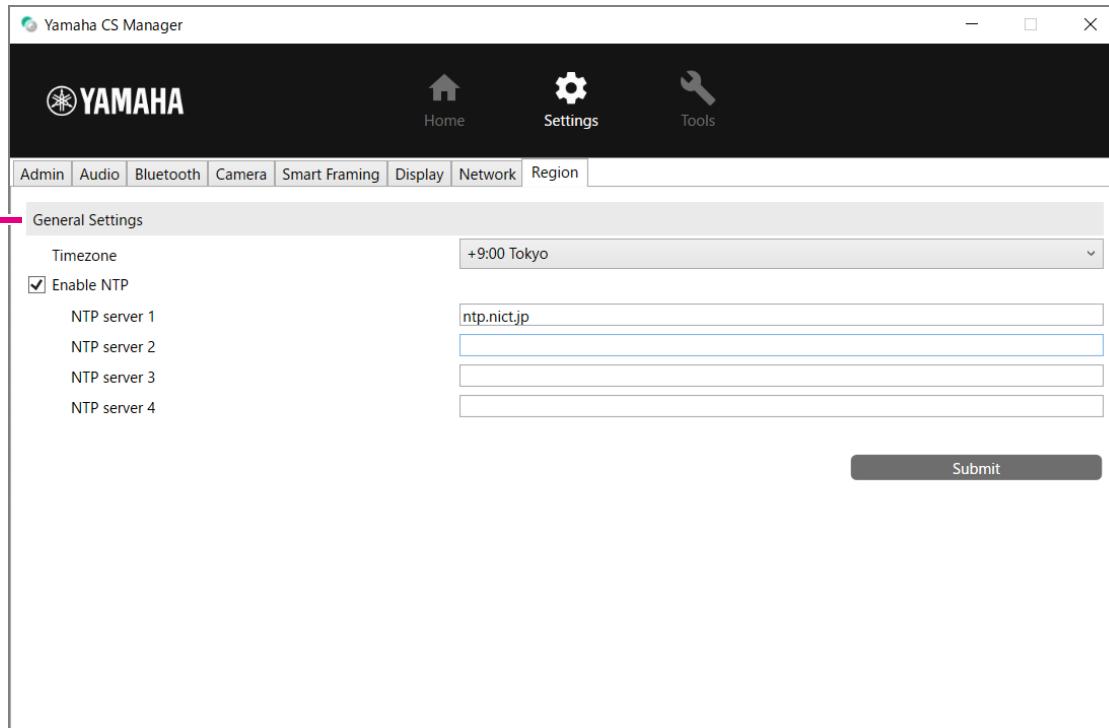
# 時刻設定

時刻設定では、本体の時刻を自動で合わせるための設定ができます。

## お知らせ

時刻設定をするには、ネットワーク設定で Wi-Fi 接続を行う必要があります。(23 ページ)

### Settings メニュー > Region 設定



#### ① General Settings

項目	内容
<b>Timezone</b>	タイムゾーンを選択します。
<b>Enable NTP</b>	NTP 機能の無効化／有効化を設定します。有効にした場合、NTP サーバーのアドレスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [NTP server 1]</li> <li>• [NTP server 2]</li> <li>• [NTP server 3]</li> <li>• [NTP server 4]</li> </ul>
<b>Submit</b>	[General Settings] の内容を反映します。

## 関連リンク

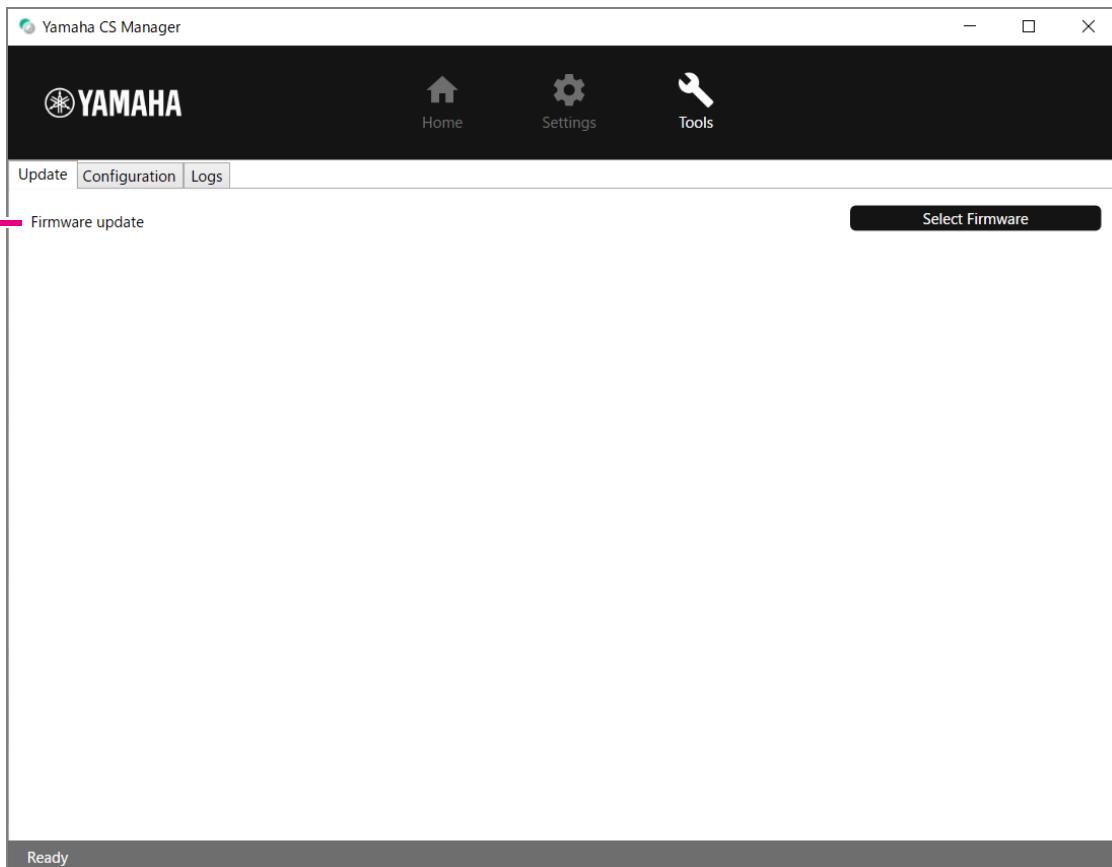
- Wi-Fi 接続する (23 ページ)

# ファームウェアアップデート

ファームウェアアップデート画面では、ファームウェアのアップデートができます。

本製品は、操作性の向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートできる仕様になっています。本体のファームウェアを最新のバージョンにアップデートすることをおすすめします。

## Tools メニュー > Update 画面



### ① Firmware update

項目	内容
<b>Select Firmware</b>	ファームウェアファイルを指定して、アップロードします。アップロード可能拡張子 (.bundle)

## お知らせ

- 最新のファームウェアファイルは、以下のサイトからダウンロードしてください。

### ▼CS-800 製品サイト

<https://www.yamaha.com/2/cs-800/>

### ▼CS-500 製品サイト

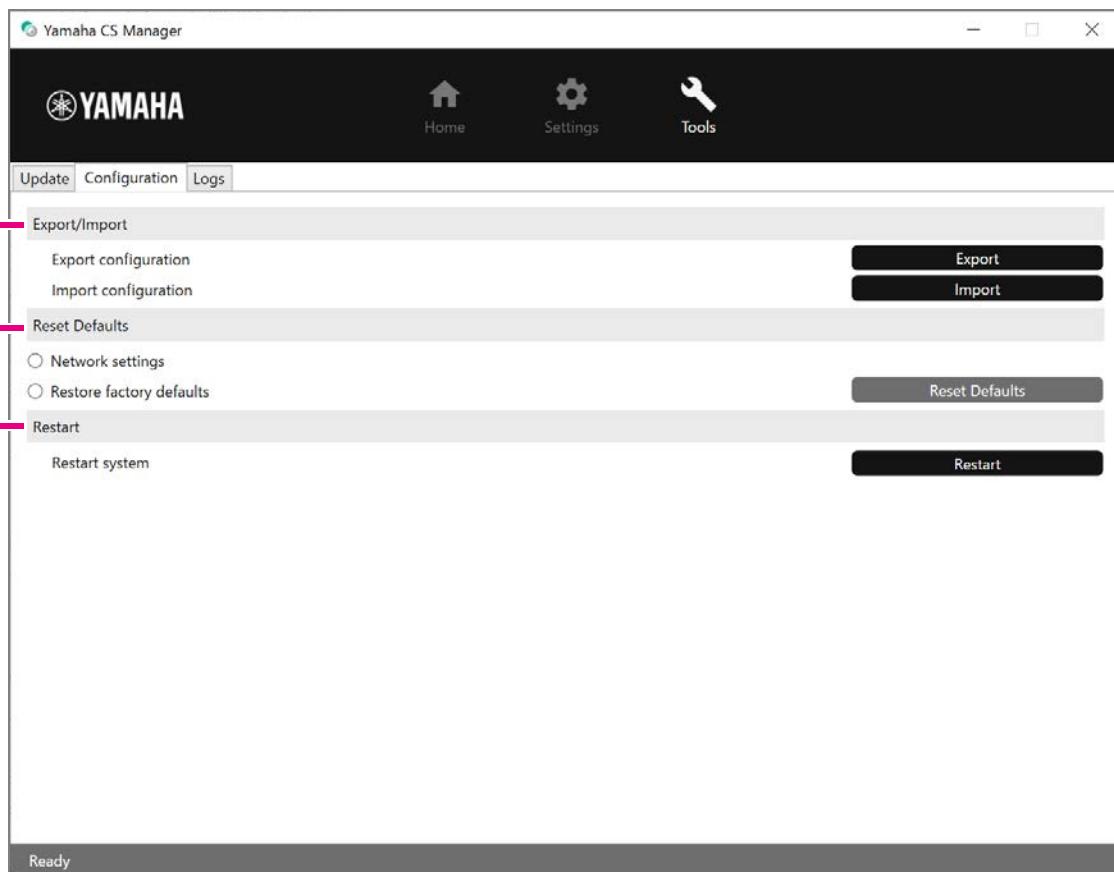
<https://www.yamaha.com/2/cs-500/>

- ファームウェアのアップデート中は、本体の AC アダプターや USB ケーブルを抜かないでください。
  - アップデートが正常に完了すると、CS-800/CS-500 本体が再起動し、本体のインジケーターが白色に点灯します。白色に点灯しない場合は、再度アップデートを行ってください。
- \* アップデート完了後、ヤマハ CS マネージャーの Status 画面で、[Firmware version] が新しいバージョンになっているかご確認ください。

# コンフィグレーション

コンフィグレーション画面では、本体の設定のリセット・再起動ができます。

## Tools メニュー > Configuration 画面



### ① Export/Import

項目	内容
<b>Export</b>	本アプリで設定した内容をエクスポートします。 エクスポートした設定ファイルは、[Import] ボタンもしくは CS Remote Configurator でインポートできます。 エクスポートされない項目： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマハ CS マネージャーのログインパスワード</li> <li>・ネットワーク設定の [Host name]</li> <li>・ネットワーク設定の [IP Address]</li> </ul>
<b>Import</b>	設定ファイルをインポートできます。

## ② Reset Defaults

項目	内容
<b>Network settings</b>	ネットワーク設定をリセットする場合は、チェックをして [Reset Defaults] ボタンをクリックしてください。
<b>Restore factory defaults</b>	工場出荷時の状態に初期化をする場合は、チェックをして [Reset Defaults] ボタンをクリックしてください。リセット完了後は、初期パスワード設定画面が表示されます。
<b>Reset Defaults</b>	上記で選択したリセットを行います。

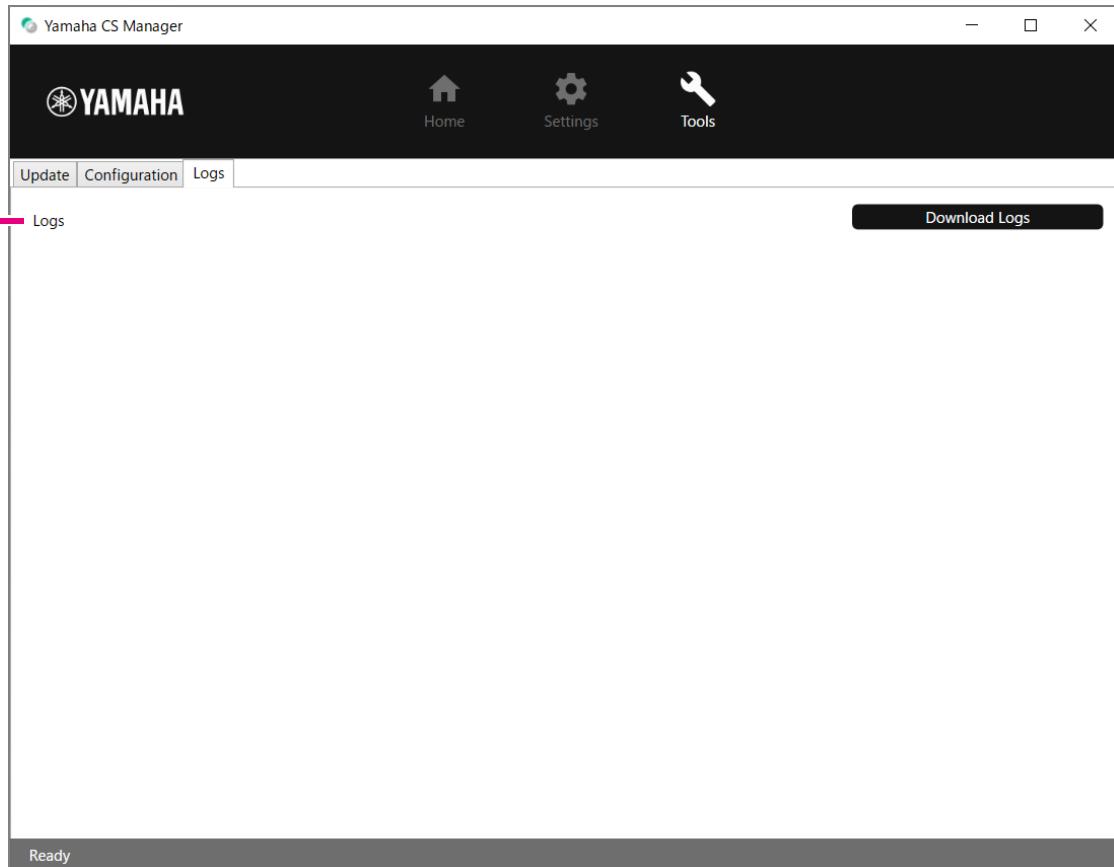
## ③ Restart

項目	内容
<b>Restart</b>	本体を再起動します。 再起動後はログイン画面が表示されます。

# ログ

ログ画面では、ログ情報をダウンロードできます。問題が発生しサポート窓口へお問い合わせ頂いた際、原因を分析するためにダウンロードしていただくことがあります。

## Tools メニュー > Logs 画面



### ① Logs

項目	内容
<b>Download Logs</b>	ログファイルを保存します。ログファイルの保存先を参照から指定して、ダウンロードしてください。

### お知らせ

ログ情報は、工場出荷時の状態に戻すと（ファクトリーリセット）削除されます。不具合などでファクトリーリセット（29 ページ）を行うときは、先にログ情報をダウンロードすることをおすすめします。

Yamaha Global Site  
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads  
<https://download.yamaha.com/>